

長野市文化財保存活用地域計画事業進捗及び評価指標シート（R7年度）

計画評価指標…………… 2 P

関連文化財群事業進捗シート…………… 8 P

長野市文化財保存活用地域計画評価指標（案）

基本方針1）文化財を掘り起こす（調査）

地域で守り伝えられてきた多様な文化財を市民と共に掘り起こし、価値づけをすることで、市民にも来訪者（観光客等）にも魅力ある長野の歴史文化の特徴を広く共有していく。

方針1-1 文化財を総合的に把握する

番号	措置	R7年度事業	期実施
1	市内仏教美術調査	昨年度に続き善光寺大勸進・寛慶寺、明徳寺（豊栄）を実施。新たに円光寺（今里）の調査を追加して実施した。【博】	R6-13
2	未指定文化財の現状把握調査	更北地区の不動寺・青木鳥如意輪観音堂・小島田中組公民館（旧観音堂）の什物調査を実施した。【博・文】 松代藩商人家の資料調査を実施。その後、当館へ寄託となった。【宝】	R6-13
3	近世社寺の調査	信州新町地区を対象に一次調査を9割実施済み。来年度からは主要な神社について詳細調査を行う予定。【文】	R6-13
4	埋蔵文化財分布調査の実施	開発事業に先立ち36件（4～1月）の試掘調査を実施。【埋文】	R6-13
5	戸隠竹細工調査	R5年度から実施してきた調査成果をまとめ中。【文】	R6-9
6	文化財総合データベースの整備	文化財データ・高精細デジタル画像の登録。	R6-13

【実施状況】 6措置実施

方針1-2 文化財を研究し価値づける

【評価指標】 上段：目標値 下段：実績値 R5は実績値

指標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
新たに刊行した図録・報告書数（冊／年）	5								5
	5								

番号	措置	R7年度事業	期実施
7	博物館、宝物館等での展示研究事業	地域資料の調査・研究に基づき実施した展示会 「見るカイあり！貝の魅力大集合-長野の貝化石から現在の貝殻まで-」 「Sun! Sun! Sun! ～市民が見つないできた太陽観測～」 「戦後80年-長野の市民と戦後社会-(前期)」 「平五郎座右記～藤屋御本陳と変わり行く門前町～」 「戸隠から世界へ！～トガクシソウ発見150年&シナノホタテ命名100年～」 「昭和の学校を体験！～目からうろこの教材たち～」 「ながのシアチコチよこいさ～ん・横井弘三没後60年展」 「信州新町周辺のクジラ化石」 「三葉虫がいた海」 【博】 「真田家の家紋」 「新収蔵資料展・特別公開 長國寺所蔵 岩佐又兵衛筆「堀江物語絵巻」展」 「真田邸下張文書の世界」(1,764人) 【宝】	R6-13
8	文化財の収集、整理	寄贈資料・寄託資料受け入れ、資料購入などを実施。【博・宝】	R6-13
9	ながの祇園祭祭礼調査	市指定に向けた祭礼の参与調査を実施した。【文・博】	R6-9

【実施状況】 3措置実施

【協議会委員コメント】

--

基本方針2) 掘り起こした文化財を保存する (保存)

経年劣化や災害等による文化財の滅失・損傷を防ぎ、確実に保存していくため、日常の維持管理と計画的な修理を行う。

方針2-1 文化財を適切に維持管理する

【評価指標】 上段：目標値 下段：実績値 R5は実績値

指 標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
指定文化財保護活動参加者数 (人)	2,246	▶							2,500
		2,363							

番号	措 置	R 7 年度事業	期 実 間 施
10	文化財所有者管理者研修会	12月2日に実施。【文】	R6-13
11	文化財所有者意識調査	未実施	R6-13
12	文化財パトロール	国・県指定文化財のパトロール (45件/パトロール員3名)、および市指定文化財のパトロール (71件/パトロール員24人) を実施。 市指定については長野市文化財保護協会と連携して実施した。【文】	R6-13
13	保存活用計画の作成	未実施	R6-13
14	真田宝物館施設整備	登録博物館に向けた検討委員会を開催。県に申請中。【宝】	R6-13
15	博物館収蔵施設再編に向けての検討	博物館資料の管理に関する専門家会議を開催。信級文化財収蔵庫資料の再調査を実施。【博】	R6-13
16	各団体をまとめる窓口設置の検討	—	R10-13
17	文化財保護行政に寄与する団体に対する支援	長野市文化財保護協会に対し、活動補助を交付した。【文】	R6-13
18	博物館等文化施設のボランティア、友の会活動の支援	博物館ボランティア (ながはくパートナー) による被災資料の保全作業や小学校の社会見学の対応、友の会同好会の講座を実施。【博】 松代文化財ボランティア活動に対する補助及び協働活動の実施。【宝】	R6-13
19	文化活動団体把握アンケート	未着手	R6-13
20	郷土史研究者との連携	更北の郷土史研究者と共に更北地区の文化財把握調査を実施。【博・文】	R6-13
21	文化財の記録保存調査	建物解体予定の登録有形文化財 (日本クレーン協会長野支部博物館) について、記録保存調査を実施。【文】	R6-13
22	無形文化財、無形の民俗文化財の映像記録化及び公開	篠ノ井三十三灯籠行事の記録撮影を実施。【文】	R6-13
23	埋蔵文化財緊急発掘調査	屋地遺跡ほか14件の緊急発掘調査 (発掘9件・整理5件) を実施した。【埋文】	R6-13

【実施状況】 14措置中10措置実施

方針2-2 文化財を適切に修理する

【評価指標】 上段：目標値 下段：実績値 R5は実績値

指 標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
指定等文化財修理補助事業件数 (件)	4	▶							5
		4							

番号	措 置	R 7 年度事業	期 実 間 施
24	国史跡大室古墳群の保存整備事業	古墳1基 (155号墳) の保存整備工事を実施。【埋文】	R6-13
25	国史跡松代城跡の保存整備事業	第2期整備計画に基づく外周園路整備工事、二の丸遺構外整備工事、石垣測量調査、発掘調査、史料調査等を実施【文】	R6-13
26	指定等文化財の保存整備事業	県史跡牧野島城跡の三の丸橋の整備 (橋設置工事) を実施した。 市指定文化財旧作新学校本館の整備事業を実施した。 市指定文化財旧松代藩鐘楼の外壁修繕工事を実施した。【文】	R6-13
27	指定等文化財修理補助事業	浅川八幡神社社殿、若穂正満寺山門、鬼無里松巖寺経蔵、戸隠中社の納経供養塔の修理、松代矢沢家のヒム口の剪定、鬼無里南浦のイチイの保護に対して補助を行った。【文】	R6-13
28	国登録文化財への支援の検討	未着手	R6-13

【実施状況】 5措置中4措置実施

方針 2-3 災害や盗難に備える

番号	措置	R7年度事業	期 実 間 施
2	未指定文化財の現状把握調査	更北地区の不動寺・青木鳥如意輪観音堂・小島田中組公民館（旧観音堂）の什物調査を実施した。【博・文】	R6-13
29	防犯パトロール体制の強化	長野市文化財保護協会と連携した文化財パトロールの実施や、所有者・管理者研修会で防犯への意識啓発及び巡視の呼びかけを行った。【文】	R6-9
30	戸隠伝統的建造物群保存地区の台帳整備	特定物件の追加に即して台帳の整備（追加）を行った。今後紙ベースではなく電子ベースの台帳の整備を検討中。【文】	R6-13
31	地域の文化財防災マニュアル作成	R6に作成した耐震改修マニュアルを使って、住民向けの勉強会を行った。（戸隠伝建地区）【文】	R6-9
32	文化財防災訓練の実施	1月26日の文化財防火デーに合わせ善光寺を始め真田宝物館でも防災訓練を実施した。また消防局と連携し防火デー前後で指定文化財の消防点検を行い、所有者・管理者の防災意識の向上に努めた。【文・消】	R6-13
33	文化財所有者・管理者向け文化財防災チェックリストの作成	未着手	R6-9
34	文化財ハザードマップの作成	未着手	R6-9
35	善光寺の防災防犯設備整備	善光寺防災計画に基づき、本堂、三門、経蔵等の防災施設整備事業を実施（出火防止、火災覚知、初期消火、類焼防止、避難誘導、煙制御、消防・救助活動、防災管理）（R6事業完了）【文】	R6完了
36	旧横田家住宅の防災施設整備	消防用エンジンポンプや放水銃、配管の更新、屋外消火栓や高粘度液体放射装置の配備、炎感知器・煙感知器の追加設置などの防災施設整備工事を完了した。【文】	R6完了
37	戸隠重要伝統的建造物群保存地区の防災対策	外部通報システムの構築に向けた基本設計を実施中。 中社区・宝光社区の防災訓練の機会をとらえ、勉強会や軽可搬ポンプの操作訓練を実施した。【文】	R6-9
38	被災文化財保全活動の支援	博物館ボランティア（ながはくパートナー）による被災資料の保全作業を継続。【博】	R6-13
39	災害時文化財レスキュー体制の構築	未着手	R6-9

【実施状況】 12措置中9措置実施

【協議会委員コメント】

--

基本方針3) 歴史文化の魅力を伝え活用する (活用)

市民や来訪者(観光客等)の誰もが、長野らしさを伝える市内の多様な文化財の魅力を知ることができるよう、文化財を学ぶ機会の創出や情報発信を行い、文化財を核としたまちづくりや観光に活用していくことで、文化財の保存と活用の好循環を生み出していく。

方針3-1 文化財を学ぶ機会を充実させる

【評価指標】 上段: 目標値 下段: 実績値 R5は実績値

指標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
展示施設への学校社会見学の受け入れ数(団体)	117								150
		137							

番号	措置	R7年度事業	期 実 間 施
40	学芸員出前講座	開催依頼に基づき21件実施【埋文】 公民館・市立長野高校(ながのろじー)への講師派遣【博・文・埋文・宝】	R6-13
41	出張展示	柳原交流センター・本庁・篠ノ井交流センターで出張展示「遺跡が語る長野の歴史2025」を実施予定(2月中旬から4月下旬)【埋文】	R6-13
42	小中学校教育との連携推進事業	小学校社会見学(博物館62,宝物館21,戸隠24,信州新町8)の受け入れ、及び中学校(博物館3,宝物館,戸隠3)の受け入れ、職場体験を9件(博8件,宝1件)受け入れた。【博・宝】	R6-13
43	教員と連携した文化財に関する教材開発	信州社研と情報交換会を実施した。【文・博・宝・埋文】	R6-13
44	地域と教員の連携支援	-	R10-13

【実施状況】 5措置中4措置実施

方針3-2 文化財についての情報発信の充実

【評価指標】 上段: 目標値 下段: 実績値

指標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
長野市デジタルミュージアムのアクセス数(万件)	0								200
		120							
地域の文化財を紹介した展覧会数	14								15
		13							

番号	措置	R7年度事業	期 実 間 施
45	文化財総合ポータルサイトコンテンツ整備事業	小学生向け関連文化財群ブックレットのデータを市のHPおよび長野市デジタルミュージアム(ながの好奇心の森)に掲載した。【文】 文化財データ・高精細デジタル画像の登録【博・文・埋文・宝】	R6-13
46	説明板等の設置、改修	戸隠伝建地区について紹介する説明板を宝光社区に設置したほか、指定文化財である銅造観音菩薩立像、大峰寺真田信之霊屋の説明板改修、南向塚古墳、鶴萩古墳、葛山落合神社境内諏訪神社社殿の標柱建替を行った。【文】	R6-13
47	博物館等での文化財調査結果の展示	「見るカイあり!貝の魅力大集合-長野の貝化石から現在の貝殻まで-」(5,965人), 「Sun! Sun! Sun! ~市民が見つないできた太陽観測~」(11,478人), 「戦後80年-長野の市民と戦後社会-(前期)」(28,252人), 「平五郎座右記~藤屋御本陳と変わり行く門前町~」(5,151人), 「戸隠から世界へ!~トガクシソウ発見150年&シナノホタテ命名100年~」(6,370人), 「昭和の学校を体験!~目からうろこの教材たち~」(2,330人), 「ながのシアチコチよこいさ〜ん・横井弘三没後60年展」(2,162人), 「信州新町周辺のクジラ化石」(3,720人), 「三葉虫がいた海」(6,736人)を実施。【博】 「真田家の家紋」(20,662人), 「新収蔵資料展・特別公開 長國寺所蔵 岩佐又兵衛筆「堀江物語絵巻」展」(12,945人), 「真田邸下張文書の世界」(1,764人)を実施。【宝】	R6-13
48	展示図録等の刊行	特別展にあわせた展示図録「Sun! Sun! Sun! ~市民が見つないできた太陽観測~」及び収蔵資料目録「真田邸下張り文書整理調査報告書」「収蔵品目録 松代藩御大工 小泉家資料目録」、研究紀要、たより、ブックレット等を刊行【博・宝】	R6-13
49	地域の文化活動団体刊行物の情報提供	未着手	R6-13

50	多言語解説拡充整備	戸隠伝建地区説明板の設置に際して、二次元コードからアクセスして英語解説を読むことができるように整備した。【文】	R6-13
51	地域計画の周知、計画の進捗状況の発信	市民出前講座にて地域計画の内容について説明（古牧地区・博物館友の会・更北地区）【文】	R6-13

【実施状況】 7措置中6措置実施

方針3-3 文化財を活かした文化観光を推進する

【評価指標】 上段：目標値 下段：実績値

指 標		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
文化財ガイドで案内した人数（人）										9,430
<長野市ガイド協会及び松代文化財ボランティアの会による案内人数>		8,573	8,689							

番号	措 置	R 7 年度事業	期 実 間 施
52	文化財ガイド人材の育成及び、プロガイド養成の検討	松代文化財ボランティア新規養成講座の実施【宝】	R6-13
53	来訪者アンケート	博物館、宝物館の来館者に対し紙及びデジタルアンケートの実施【博・宝】	R6-13
54	文化財を活用した体験型観光コンテンツの開発支援	R6年度に開発した真田邸での殿様御膳提供を含む松代地区における歴史文化コンテンツの高付加価値ガイド付きツアーを4回実施した。【観光】	R6-13
55	歴史文化や景観、伝統工芸の保存に寄与する活動の観光コンテンツ化	戸隠地区で地元協議会主催で開催される茅葺屋根に用いる茅刈りの体験事業を継続的に支援した（今年度は3回実施、計151人参加）。【まち・文】	R6-13
56	市内文化財周遊促進のための観光ルートやガイドマップ作成支援	—	R10-13
57	鬼無里観光協会と連携した鬼無里地区の周遊促進	鬼無里ふるさと資料館においてロビー展示「鬼無里観光のポスター展」を実施。【博】	R6-13
58	民間の文化財活用活動支援	未着手	R6-13

【実施状況】 7措置中5措置実施

方針3-4 文化財を活かした歴史まちづくりを推進する

番号	措 置	R 7 年度事業	期 実 間 施
59	地域団体等と連携した文化財を軸としたまちづくり	中条宮遺跡公園において、虫倉郷土史研究会や小学校・高校と連携しながら市民や子供たちに縄文の文化に触れてもらう体験講座を8回開催し、のべ176名の参加者があった。【文】	R10-13
60	文化財を核にしたまちづくりの推進	これまで協力してきた長野郷土史研究会鬼無里支部による鬼無里のお堂調査が今年度で終了した。来年度以降は調査結果を教育・観光・文化財の保存継承に活用していく意向の鬼無里支部に対し引き続き協力していく【博】	R6-13
61	伝統環境保存事業	「松代の泉水・泉水路を守る会」と協同し、庭園の保存継承に関するアンケート調査を実施した。また、審議会を開催し、より効果的な事業とするべく意見を聴取した。【文】	R6-13
62	景観重要建造物修理助成事業	若穂川田の北村邸長屋門修理に対し補助を行った。【まち】	R6-13
63	歴史的風致形成建造物修理助成事業	善光寺常徳院の門の修理助成（R6完了）。今年度は予定なし【まち】	R6-13
64	無電柱化、道路美装化による歴史的景観整備	戸隠中社・宝光社地区の道路美装化・無電柱化を継続して実施した。【まち】	R6-13

【実施状況】 6措置中5措置実施

方針3-5 文化施設の持続可能な活用マネジメント

番号	措 置	R 7 年度事業	期 実 間 施
65	真田宝物館建替への検討	松代文化施設に関するサウンディング型市場調査を実施【文・宝】 登録博物館に向けた検討委員会を開催。現在申請中【宝】	R6-13
66	戸隠地質化石博物館とそば博物館との連携の検討	未着手	R6-13
67	博物館再編事業	博物館再編について検討中【博・文】	R6-13

【実施状況】 3措置中2措置実施

【協議会委員コメント】

--

基本方針4) 文化財が継承される仕組みを作る (継承)

社会環境の変化による文化財の担い手不足や、保存に関わる専門人材の不足、保存に必要な資金・資材の不足に対して、市民・行政・民間団体等が一体となって次世代に継承していく仕組みを構築する。

方針4-1 文化財の担い手育成

【評価指標】 上段：目標値 下段：実績値

指標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
文化財の担い手継承事業参加者数(人)	2,622								4,000
<伝統芸能こどもフェスティバル来場者数>	3,578								

番号	措置	R7年度事業	期 実 間 施
68	団体の活動や用具の修理等に関する補助	伝統芸能活動団体36団体に対し補助を実施。【文芸】	R6-13
69	伝統芸能の発表機会の提供	5月3日に第9回獅子舞フェスティバルを開催し、73団体が参加した。 また10月25、26日に伝統芸能こどもフェスティバルを開催し26団体が参加し、2,428人の来場者があった。【文芸】	R6-13
70	伝統工芸継承支援	戸隠竹細工の技術伝承支援として昨年度に続き竹細工技術の歴史的調査を実施した。【文】	R6-9
71	文化財の担い手についての把握調査	未着手	R6-13
72	文化財の担い手となる市民、団体の育成	伝統芸能子どもフェスティバルの開催【文芸】 教職員向け講習会を実施【博(戸隠)】 古文書講座の開催及び松代文化財ボランティアの会との資料整理講座を実施し、今年度はその成果を企画展「下張り文書の世界」で紹介した。【宝】	R6-13
73	文化財に携わる職人の活動支援の検討	未着手	R6-13
74	文化財修理に関わる技術者の把握と連携	職人・工房等への継続した資料の手入れ及び修復を依頼している。【宝】	R6-13

【実施状況】 7措置中5措置実施

方針4-2 文化財の継承に必要な資金・資材調達のための仕組みを作る

【評価指標】 上段：目標値 下段：実績値

指標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ふるさと納税(文化財関係)の寄付金額(万円)	11,210								13,500
		13,104							

番号	措置	R7年度事業	期 実 間 施
75	ふるさと納税等寄付金による資金調達	松代城跡保存整備、戸隠地区重伝建等で実施【文】	R6-13
76	文化財修理に必要な原材料の確保支援	茅葺屋根に用いる材料確保と伝統技術の継承のため、地元協議会主催で実施する茅刈り体験事業の支援を行った(3回実施,計151人参加)。【まち・文】	R6-13

【実施状況】 2措置実施

方針4-3 文化財の継承に必要な専門人材との連携を強化する

【評価指標】 上段：目標値 下段：実績値

指標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
連携が図れた文化活動団体数(団体)	5								13
		6							

番号	措置	R7年度事業	期 実 間 施
77	文化財の保存活用に関わる団体との連携強化	信州社研、長野県建築士会、長野市文化財保護協会、戸隠竹細工組合、松代の泉水・泉水路を守る会、虫倉郷土史会、長野郷土史研究会鬼無里支部と連携を図り、文化財保存活用の活動を実施	R6-13
78	歴史的建築物の活用ノウハウを有した企業との連携	松代文化施設民間活力導入可能性調査として、官民連携した文化施設の新たな活用法について、意見交換を実施した。【文・宝】	R6-13

【実施状況】 2措置中2措置実施

【協議会委員コメント】

--

関連文化財群 事業進捗シート（案）

関連文化財群

関連文化財群 1) 大地の記憶 海だった長野

長野市の大地の生い立ちを特徴づける地質現象並びに古生物に関連する文化財群について取り上げ、長野盆地と周辺の山間地の地質的特徴についての普及啓発やそれを示す記念物等文化財の保護に向けた取組を進めていく。

措置	取組	R7年度事業	期 実 間 施
1	野外観察会の実施	自然観察教室及び植物観察会を計20回実施予定【博】	R6-13
2	構成文化財群の魅力発信事業の実施	広報広聴課 市政番組 ふれあい長野 2回（7月：長野の水はどこから 11月：北八幡川はどこへながれるのか）企画・出演【博】	R6-13
3	フィールドワークの実施	講座としての街歩き（中部公民館2回 城山公民館1回 計45名参加予定）【博】	R6-13
4	収蔵地質資料の調査研究と整理	旧更府小学校移管資料・採集資料等の整理を実施、クジラ化石等のクリーニング、館外研究者と共同で県内産中生代植物化石資料の研究を推進【博】	R6-13
5	博物館収蔵品のレプリカ作成	「裏沢の絶滅セイウチ化石」レプリカ作成【博】	R6-13
6	文化財を活用したグッズ開発の検討	化石を題材としたマグネットの作成【博】	R6-9
7	SNS等を活用した情報発信	博物館のSNSやブログを活用し情報を発信【博】	R6-13
8	収蔵品DBの充実とHPのアクセシビリティの向上	「長野市デジタルミュージアム」に新収蔵資料を掲載、収蔵資料データの情報を更新【博】	R6-13
9	市民参加の推進	信州新町地区・化石に関する共催イベントを実施（10月11日、12日）【博】	R6-13
10	教職員への研修	市教育センター初任者研修 56名参加（7月30日）、教職員向け講習会 8名参加（8月1日）【博】	R6-13
11	小中学校教育との連携推進事業	学校団体向けに地層見学（戸隠27団体1,109人、信州新町8団体566人）や化石クリーニング体験（戸隠4団体156人）等を実施【博】	R6-13

【実施状況】 11措置中10措置実施

【協議会委員コメント】

--

関連文化財群2) 「信濃の国のはじまり」のはじまり

長野市域を中心とする善光寺平一帯には弥生時代から古墳時代にかけての、「信濃国」成立へ向けた政治・経済圏の形成過程を知る上で重要な史跡や考古資料が集積しており、それらの調査や保存活用、情報発信を継続的に行う。

措置	取組	R7年度事業	期 実 間 施
1	埋蔵文化財分布調査	開発事業に先立ち36件(4~1月)の試掘調査を実施【埋文】	R6-13
2	市内遺跡確認調査事業	未実施(事業として未着手)	R6-9
3	資料の収集・整理・研究	宮崎遺跡出土資料の再整理、川柳將軍塚古墳に関する資料収集【埋文】	R6-13
4	指定等文化財候補の選定	選定候補リスト作成準備【埋文】	R6-13
5	史跡大室古墳群整備専門家会議	3月に開催【埋文】	R6-13
6	大室古墳群管理事業	4~11月に実施(12月1日~3月31日冬期閉館)【埋文】	R6-13
7	史跡大室古墳群保存整備事業	古墳1基(155号墳)の保存整備工事を実施【埋文】	R6-13
8	史跡大室古墳群保存管理計画の策定	令和10年度以降を計画【埋文】	R10-13
9	文化財保護への支援	文化財保存団体計37件に対して環境整備補助金の交付を予定【文】	R6-13
10	地域の文化財の担い手育成	発掘調査作業員の研修会を4/2と1/9に開催【埋文】	R6-13
11	収蔵スペースの確保	信州新町収蔵施設の運用開始【埋文】	R6-13
12	博物館収蔵庫改修、特別収蔵庫の設置	未実施	R6-13
13	大室古墳群アクセス道路の整備	地盤解析の結果を踏まえた設計変更を検討中【文】	R6-13
14	関連文化財群に関する普及啓発	長野市デジタルミュージアムにおいて関連文化財群を紹介【文】	R6-13
15	構成文化財の教材化の検討	信州社会科研究会との継続検討(授業実践・夏季研修)を実施【埋文】	R6-13
16	博物館常設展の更新・拡充、及び企画展の開催	未実施	R6-13
17	ガイドマップの作成及びガイド人材の育成	パンフレット・分布地図を常時提供。【埋文】	R6-13
18	大室古墳群まつりの開催	10月19日(日)に開催。参加者598名。【埋文】	R6-13

【実施状況】 18措置中14措置実施

【協議会委員コメント】

--

関連文化財群3) 川中島の戦いと伝承

川中島合戦は全国的に名の知られた戦いであり、現在もその合戦跡をたどって本市に足を運ぶ人が多い。そのため全市にわたる川中島合戦関連史跡の調査を行い、その魅力について情報発信を行っていく。

措置	取組	R7年度事業	期 実 間 施
1	川中島の戦い関連資料の収集	川中島の戦いに関連する錦絵などの資料を購入した。【博】	R6-13
2	展示公開による情報発信	市立博物館「川中島の戦い」展示室において、佐久コレクションや武田信玄書状といった資料の展示公開を実施し、情報発信を行った。【博】	R6-13
3	博物館展示設備改修	—	R10-13
4	川中島合戦文化財周遊コンテンツの作成	川中島の戦いデジタルスタンプラリーの実施【観光】	R6-13
5	川中島の戦い関連文化財紹介HPの新設	長野市デジタルミュージアムながの好奇心の森において関連文化財群の紹介ページを新設済。(R6事業完了)【文】	R6完了
6	教育機関向け学習コンテンツの開発	長野市デジタルミュージアムながの好奇心の森において子ども向けの関連文化財群紹介ページを掲載した。【文】	R10-13
7	牧之島城跡の保存整備を進める	本丸と丸馬出しの間の空濠にかかる橋を設置した。【文】	R6-9

【実施状況】 7措置中6措置実施

【協議会委員コメント】

--

関連文化財群4) 松代城下町に伝わる武家文化

松代には松代藩と関連する歴史資料や史跡、建造物、生活文化、風習が集積している。これら未指定を含む文化財についての調査や保存・活用、情報発信を総体的かつ継続的に行い、まちづくりや観光振興にその効果を波及させる。

措置	取組	R7年度事業	期 実 間 施
1	松代藩関係資料調査	松代城跡保存整備に伴う絵図・文献資料調査【文】	R6-13
2	松代城下町文化財調査	松代藩及び真田家関係資料の調査・研究・公開【宝】	R6-13
3	流出した松代藩関係資料の収集	松代藩及び真田家関係資料の収集・購入【宝】	R6-13
4	外部研究機関との共同研究事業の推進	国文学研究資料館・信州大学ほか研究機関との共同研究の実施【宝】	R6-13
5	真田宝物館展示室及び収蔵施設整備の検討	真田宝物館収蔵庫ハロン消火設備改修工事を実施した。 松代文化施設民間活力導入可能性調査において、真田宝物館のリニューアルについて、民間事業者と意見交換を実施した。【文・宝】	R6-13
6	松代城跡保存整備事業	第2期整備計画に基づく外周園路整備工事、二の丸遺構外整備工事、石垣測量調査、発掘調査、史料調査等を実施。【文】	R6-13
7	旧横田家住宅の防災施設整備事業	防災施設整備工事をR6年度に完了。【文】	R6完了
8	登録文化財への登録推進支援	松代地区住民自治協議会と連携して調査を進めている。【文】	R6-13
9	歴史的まちなみ環境整備事業	主な事業が完了済みのため今年度は未実施。【まち】	R6-13
10	伝統環境保存事業	「松代の泉水・泉水路を守る会」と協同し、庭園の保存継承に関するアンケート調査を実施した。また、審議会を開催し、より効果的な事業とすべく意見を聴取した。【文】	R6-13
11	庭園の維持管理体制の検討	「松代の泉水・泉水路を守る会」の活動（池の浚渫）に対する協力をを行うとともに、維持管理の検討材料として泉水所有者アンケートによる現状把握を実施した。【文】	R6-13
12	文化財保存のための財源確保	ふるさと納税制度を活用【文】	R6-13
13	松代藩関係資料購入基金創設の検討	未着手	R6-13
14	災害時の文化財レスキュー体制の検討	未着手	R6-9
15	松代藩関係文化財の情報発信	長野市デジタルミュージアム（ながの好奇心の森）や展示図録・たよりの発行及び宝物館HP・SNSなどによる情報発信。書籍・新聞・テレビ・メディア等への所蔵資料の画像データ貸出、または番組等への出演。【宝】	R6-13
16	着地型文化観光コンテンツ開発支援	昨年度開発した英語ガイド付き体験ツアーを行った。【観光】	R6-13
17	歴史的建造物活用事業の推進	真田邸のプロジェクションマッピング、ライトアップ等を実施。また、松代文化施設民間活力導入可能性調査を実施し、官民連携した文化施設の新たな活用手法について、民間事業者と意見交換を進めた。【文・宝・観光】	R10-13
18	教育機関と連携した普及啓発事業	学校と連携し、真田宝物館資料の学習教材利用を促進 職場体験・博物館実習・インターンシップの受け入れ。【宝】	R10-13
19	松代藩関係文化財の普及事業	長野市デジタルミュージアムによる情報発信の推進のほか、展示にあわせた講演会の開催、ギャラリートークやワークショップ、イベント等の実施。ミュージアムグッズ（ハンドタオル、トートバッグ・アクリルチャーム・マスキングテープ、クリアファイルほか）の作成を行った。【宝】	R6-13
20	文化財の担い手育成	「松代の泉水・泉水路を守る会」の活動（池の浚渫、学習会）に対し連携協力し、活動継続の支援を行った。【文】	R6-13
21	建造物修理に必要な技術継承、人材育成支援	—	R10-13
22	伝統工芸、伝統芸能技術継承、後継者育成支援	—	R10-13

【実施状況】 22措置中18措置実施

【協議会委員コメント】

--

関連文化財群5) 善光寺・門前町に息づく歴史文化と祭礼

善光寺とその門前町一帯には、善光寺と関連する歴史資料や遺跡、建造物、生活文化、風習が集積している。これら未指定を含む文化財についての調査や保存・活用、情報発信を総体的かつ継続的に行い、まちづくりや観光振興にその効果を波及させる。

措置	取組	R7年度事業	期 実 間 施
1	善光寺関連資料の把握調査	大勸進の宝物調査を継続実施【博】	R6-13
2	歴史的建造物、祭礼などの調査の推進	ながの祇園祭の調査を実施【文・博】	R6-13
3	善光寺本堂の耐震、防災対策の検討支援	善光寺防災計画に基づき所有者が実施する本堂、三門、経蔵等の防災施設整備事業について必要な支援を行った。【文】	R6完了
4	防災訓練の実施	1月26日の文化財防火デーに合わせ、消防訓練、避難訓練を実施した。	R6-9
5	善光寺保存事業の実施支援	建物破損の進行状況把握、修理時期・規模の特定などに活用するため、所有者が保存活用計画に基づき三門・経蔵を3D計測する事業等に対し、必要な支援を行った。【文】	R6-9
6	善光寺関連施設修理の検討	本堂の大規模修理にあわせた周辺関連施設の修理予定について、所有者と情報共有を行った。【文】	R6-9
7	建築基準法適用除外の検討	庁内関係課で検討中。【まち】	R6-9
8	リノベーション支援	未着手	R6-13
9	歴史的まちなみ環境整備事業	主な事業が完了済みのため今年度は未実施。【まち】	R6-13
10	文化財修理基金創設の検討	未着手	R6-13
11	門前まちあるきイベントの促進支援	長野市ガイド協会の企画「長野市ホットなまち歩き」についてガイド協会と協議を行った。【文】	R6-13
12	文化財を活用した観光コンテンツ開発支援	検討中【文】	R6-13
13	ガイドマップの更新及びガイド人材育成支援	長野市ガイド協会と協議、検討を行った。【文】	R6-9
14	教育機関と連携した普及啓発事業	未実施	R6-13
15	建造物修理の技術継承と後継者育成支援	未着手	R6-13

【実施状況】 15措置中10措置実施

【協議会委員コメント】

--

関連文化財群6) 自然と信仰が紡ぐ戸隠の歴史文化

戸隠には、戸隠信仰に関わる歴史資料や遺跡、建造物、生活文化、風習が集積するとともに、戸隠信仰を生み出す背景となった自然環境が良好に保全されている。これら未指定を含む文化財やそれを取り巻く環境についての調査や保存・活用、情報発信を総体的かつ継続的にを行い、まちづくりや観光振興にその効果を波及させる。

措置	取組	R7年度事業	期 実 間 施
1	戸隠竹細工調査の実施	戸隠竹細工に関連する歴史資料の調査を継続実施。【文】	R6-9
2	戸隠山関連文書の把握調査	昨年度に引き続き社家（宿坊）文書の撮影及び整理を実施した。【文】	R6-13
3	観光パンフレットの作成及びガイド人材育成支援	ガイド養成事業の実施について戸隠観光協会と検討中。【文】	R6-9
4	文化観光コンテンツの開発を支援する	未着手	R6-13
5	戸隠神社奥社叢水路等の整備	文化財指定範囲における雨水排水の現況を把握し、文化財保存のための水路整備を行う事業に対し、協議及び補助を行った。【文】	R6-9
6	伝統的建造物群防災対策事業の実施	外部通報システムの構築に向けた基本設計を実施中。 中社区・宝光社区の防災訓練の機会をとらえ、勉強会や軽可搬ポンプの操作訓練を実施した。【文】	R6-9
7	伝統的建造物群保存地区保存事業の推進	所有者等が実施する建造物の修理2件、修景1件に対して助成を行った。また宝光社区に伝建保存地区の説明看板を設置した。【文】	R6-13
8	伝統的建造物群の建築基準法適用除外の検討	庁内関係課で検討中。【まち】	R6-9
9	茅刈り事業の推進支援	茅葺屋根に用いる材料確保と伝統技術の継承のため、地元協議会主催で実施する茅刈り体験事業の支援を行った（3回実施、計151人参加）。【文】	R6-13
10	古民家活用事業の支援	宝光社地区で土蔵を修理し一棟貸タイプの宿泊施設にする事業に対し、建物修理支援を行った。移住予定者が空き家バンクを通して伝建地区内の物件を購入し、飲食・宿泊施設として活用する事業に対して修理修景助成の検討をした。【文】	R6-13
11	戸隠竹細工技術継承事業の支援	戸隠竹細工の製作工程調査を継続して実施した。【文】	R6-13
12	歴史的まちなみ環境整備事業	道路美装化工事、電柱電線類移設工事を継続して実施した。【まち】	R6-13
13	文化財保存のための財源確保	ふるさと納税制度を活用した。【文】	R6-13

【実施状況】 13措置中12措置実施

【協議会委員コメント】

--

関連文化財群7) 里山の恵みを活かした暮らしと粉食

現在の長野市を成り立たせてきたかつての主産業と、その変遷を示す文化財の魅力を高め、その保存と活用を積極的に図ること、また長野市を代表する食文化の振興を図る。

措置	取組	R7年度事業	期 実 間 施
1	生産生業資料のコレクション化に向けての研究	信州新町信級収蔵庫の資料の調査を実施した。【博】	R6-13
2	生産生業資料をテーマとした展示公開事業	常設展示において二毛作の展示を継続した。【博】	R6-13
3	昔の暮らしを伝えるボランティアの育成	ながはくパートナー昔たいけんグループの活動を継続した。【博】	R6-13
4	鬼無里の屋台の魅力発信	鬼無里ふるさと資料館における屋台解説等を実施した。【博】	R6-13

【実施状況】 4措置実施

【協議会委員コメント】

関連文化財群8) 川と共に生きる-千曲川水系と暮らし-

長野盆地を形成し、長野市の人々の暮らしと深いつながりのある千曲川がもたらしてきた恵みと災いについての普及啓発と、それを物語る文化財の保存や活用に向けた取組を進めていく。

措置	取組	R7年度事業	期 実 間 施
1	漁撈資料の調査と収集	若穂の漁撈の道具を収蔵した。【博】	R6-13
2	漁撈資料の展示公開	常設展示室の川と共に生きるコーナーを水害を踏まえた内容とした。【博】	R6-13
3	博物館収蔵設備整備	—	R10-13
4	文化財保全活動体制の整備	ながはくパートナーにおける文化財保全活動を継続した。【博】	R6-13

【実施状況】 4措置中3措置実施

【協議会委員コメント】

関連文化財群9) 長野市に伝わる多様な祭礼・行事

長野市域に展開される多様な祭礼・行事のなかから、市域を特徴づける民俗文化財が後世まで継承されるようその実態を把握するとともに、情報の発信を通じてその魅力を伝える取組を進めていく。

措置	取組	R7年度事業	期 実 間 施
1	行事・祭礼把握調査の実施	未着手	R6-13
2	伝統芸能継承支援事業	伝統芸能活動団体36団体に対し補助を実施。【文芸】	R6-13
3	行事・祭礼の映像記録化事業	市選択無形民俗文化財（三十三灯籠）の映像記録化を実施した。【文】	R6-13
4	行事・祭礼の情報発信	ながの観光コンベンションビューローや観光協会と連携しながらHPやSNSで、各地区の祭礼等の取組を積極的にPRした。【まち】	R6-13
5	行事・祭礼の担い手育成支援	未着手	R6-13
6	市域の特徴ある祭礼行事の情報発信	篠ノ井塩崎地区のどんと焼き行事（県指定）を市政番組で紹介した。【文】	R6-13

【実施状況】 6措置中4措置実施

【協議会委員コメント】